2022年度入試始まる!
来春新設「先端増養殖科学科」でも合格者発表

11月20日(土)に、2022年度の学校推薦型選抜と特別選抜が、21日(日)に、総合型選抜が実施されました。このうち2022年4月に新設される海洋生物資源学部先端増養殖科学科では、学校推薦型選抜7名、総合型選抜7名が合格しました。

また、2022年1月29日(土)には初めて、生物資源学部創造農学科3年次への編入学試験も実施されます。

なお、一般選抜は下記のとおり実施します。

一般選抜の概要

① 出願期間(前期日程、後期日程とも)
2022年1月24日(月)～2月4日(金)

② 募集人員

経済学部	経済学科	前期40名、後期35名
	経営学科	前期40名、後期35名
生物資源学部	生物資源学科	前期17名、後期17名
	創造農学科	前期13名、後期 － 名
海洋生物資源学部	海洋生物資源学科	前期25名、後期10名
	先端増養殖科学科	前期10名、後期6名
看護福祉学部	看護学科	前期20名、後期10名
	社会福祉学科	前期15名、後期7名

③ 選抜期日
前期 2022年2月25日(金)、後期 2022年3月12日(土)

福井県立大学　入試情報　検索

本学関係者の著書紹介

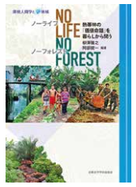
世界の食文化百科事典

共著　学術教養センター　加藤 裕美 准教授
丸善出版　2021年1月29日
世界諸地域の食文化を、様々な視点から解説した事典。
信仰・儀礼・祝祭と食の関わり、ジビエや野生動物食、グローバル化やアイデンティティと食のかかわりなど、現代社会における食の動態を体系的に理解するのに役立つ一冊。

人生を自分らしく生き抜くための意思決定
－ACP・QOL・QOD・人生デザインシミュレーション－

共著　看護福祉学部　川村 みどり 教授
金芳堂　2021年3月20日
人々が悔いなく人生を自分らしく生き抜くことができる意思決定(ACP)とは!?本書では、諸分野の専門家、医療従事者、葬儀関係者、僧侶、ファイナンシャルプランナーや遺族からのメッセージと、人生を前向きに考える「人生デザインシミュレーション」を掲載している。

ノーライフ・ノーフォレスト



共著　学術教養センター　石丸 香苗 教授
京都大学学術出版会　2021年3月31日
アジア・アフリカ・中南米の熱帯林の人々に寄り添ってきた研究者たちが「生活なき森林保護」の枠組みをラディカルに問い直し、そこに暮らし関わる人々の姿から「森の価値」を模索する。

あわら教育棟
木材利用優良コンクール優秀賞受賞

木材利用推進中央協議会主催の木材利用優良施設コンクールにおいて、あわらキャンパス教育棟が優秀賞を受賞しました。創造農学科生の新たな学び舎として、県産杉材や越前和紙の内壁クロス等、県産品をふんだんに使用したつくりになっています。

学位記授与式のお知らせ

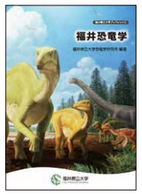
●2022年3月17日(木)　●永平寺キャンパス 講堂
※今後のお知らせは本学ホームページ等に掲載します。
▶お問合せ先:就職・生活支援課　TEL.0776－61－6000

福井県立大学出版部を創設!
研究成果をブックレットに

県内書店で好評発売中!

本学教員が中心となり「福井にまつわる研究成果」を福井県立大学ブックレットとして発行しています。このたび恐竜学研究所と大学院看護福祉学研究科の教員が執筆したブックレットを発行しました。今回のブックレットから、より多くの皆さんに本学の研究を知っていただくため、福井県内の書店にて販売することになりました。ぜひご一読ください。

福井恐竜学



福井県立大学恐竜学研究所 編著
2021年10月29日　価格:550円(税込)
①勝山市や海外で実施した恐竜の発掘
②恐竜全般
③福井で発見された恐竜の詳細
④最新の恐竜研究(CTスキャンやAIの利用等)
について学ぶことができます。

健康生活科学

福井県立大学大学院看護福祉学研究科　編著
2021年11月26日　価格:550円(税込)
健康長寿に関わる医学的要因、保険医療と社会福祉のシームレス化、医療・教育における情報通信技術(ICT)の活用、共生社会に向けての挑戦について取り上げています。

福井県立大学
Fukui Prefectural University

発行／公立大学法人 福井県立大学　2021年(令和3年)12月9日発行
〒910-1195 福井県永平寺町　TEL:0776-61-6000　FAX:0776-61-6011

大学HPはこちら

FPU シューカツ特集！

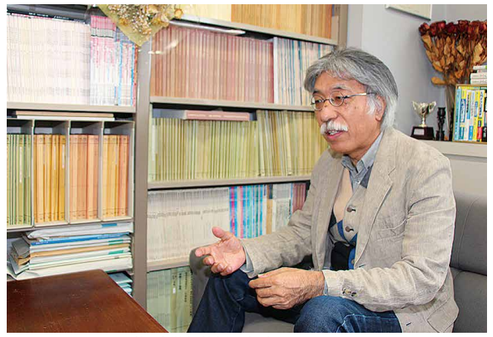
いよいよ本格的な就職活動を迎える2023年卒の県大生に向け、
“福井県大キャリアセンター”および“2022年卒の先輩からのアドバイス”をご紹介します。

就活を意識したらすぐにキャリアセンターへ!

福井県立大学キャリアセンターは2010年7月1日にキャリア教育および就職活動支援の拠点として開設しました。

キャリアセンターでは専門のスタッフによる手厚い就活支援はもちろんのこと、1年次からの実践的なキャリア教育を通じ、学生が自分自身を知り、将来を考え、自分の道を切り開くことのできる力を身につけることができます。

キャリアセンターによるサポートを上手に活用して、ご自身の未来を切り開いていってください。



キャリアセンター長／経済学部教授　新宮 晋

〈県大就職DATA〉　2020年度の実績

卒業生の就職率※	県内就職率	公務員就職者数	国家資格合格率 ※大学等の新卒者の合格率		
98.0%	50.7%	49人	看護師	100%	全国平均 95.4%
〈全国平均〉 96.0%	※2019年度 43.9%	※2019年度 40人	保健師	100%	全国平均 97.4%
※就職率=就職者数／就職希望者数×100			精神保健福祉士	100%	全国平均 71.4%
			社会福祉士	79.4%	全国平均 50.7%

標準的な就活スケジュール

2021年
- 8月　インターンシップ
- 9月～　自己分析、企業研究

2022年
- 3月　会社説明会、エントリーシート提出
- 4月～　面接、内々定
- 10月　採用内定

わたしたちがサポートします！

業界・企業研究

各業界から人事担当者を招き、業界の仕事や内容について幅広く理解を深め、志望企業を見つけるポイントを学ぶことができます。
また、コロナ禍での就職活動についても分析・アドバイスを受けられます。

大西 就職アドバイザー

キャリア教育

就職支援の専門家を招き、就職活動の進め方や自己分析等、様々な支援を行います。3年次からの体系的なプログラムにより就職を総合的にサポートします。

山田 准教授　（専門／キャリア教育）

業界研究セミナー・個別企業(自治体)説明会

県内外の企業の人事担当者から、学生が様々な業界の説明を受けられる機会を設けています。また、国の機関や自治体の個別説明会も数多く開催しています。

下迫 主任
（就職・生活支援課）

就職アドバイザーによる個別支援

専任の就職アドバイザーが常駐し、エントリーシートの添削や面接試験を想定した実践的な指導等、様々な相談に対応しています。

常田 就職アドバイザー（小浜キャンパス）

就職活動体験報告会、公務員試験合格体験報告会

就職内定を得た学生や公務員試験に合格した学生を招き、毎年、就職活動体験報告会を開催しています。先輩の生の声を聞ける絶好の機会です。

杉田 就職アドバイザー

キャリアセンターの利用方法や就職相談等の申込はHPをご覧ください。

福井県立大学 キャリアセンター　検索

わたしのシューカツ！

先輩の経験などを自分の進路選びに役立てましょう！

内定先　株式会社福井銀行（福井県・総合職）

福井県の未来に貢献したい

福井銀行を志望した理由

福井銀行は福井県のリーディングバンクであり、福井経済の発展と活性化に貢献できるような仕事ができると感じました。
また、生まれ育った福井に住む人々の役に立てる仕事がしたかったので福井銀行に決めました。

後輩へのアドバイス

就活は自己分析や企業分析を通して自分自身のことや社会のことを理解できる良い機会だと思います。また、興味のない企業でも説明会等に参加すると新しい発見があって面白いですよ。
就活で困ったことがあったら、キャリアセンターに積極的に相談してみてください。とても親身に相談に乗ってくれますよ。

野坂 夢乃 さん
経済学部
経済学科4年

内定先　フクビ化学工業株式会社（福井県・総合職）

多様な仕事に挑戦して成長したい

フクビ化学工業を志望した理由

福井県に本社を置き、全国に支店を持つ、創業50年を超える老舗企業であり、多種多様な事業を展開しているため、様々な仕事に挑戦することができ、自己成長に繋がると思いました。
また、「化学に立脚し、新たな価値を創造、提案する」、「企業経営を通じて、地域に貢献し、環境共生型社会形成に寄与する」という企業理念にも共感したため、フクビ化学工業を志望しました。

将来への抱負

「何事もとりあえずやってみる」の精神で日々努力を重ねて行きます。
仕事を通して快適な社会の実現に貢献できるよう頑張ります。

橋本 佳澄 さん
生物資源学研究科
生物資源学専攻
博士前期課程2年

内定先　福井中央魚市株式会社（福井県・水産職）

福井県の水産業を盛り上げたい

海洋生物資源学科を選んだ理由

小さい頃から生き物に興味があり、自然と触れ合う釣りや昆虫観察、飼育等が好きでした。
その後、特に魚への興味と釣りへの探究心を持つようになり、中学生の時に福井県大の海洋生物資源学科のことを知り、ここなら自分の好きな研究ができると思い、選びました。

福井中央魚市を選んだ理由

もともと福井県内での就職を考えていました。
その中で福井中央魚市は福井県大や他の研究機関等と連携してふくいサーモンの養殖プロジェクトを推進していることなどから、身近に感じることができたので、就職先として選びました。

将来への抱負

大学で培った知識や人脈を活かして、会社に貢献していきます。
そのことが福井県の水産業の発展につながれば良いと思っています。

高山 朋之 さん
海洋生物資源学部
海洋生物資源学科4年

内定先　福井県立病院（福井県・看護師）

相手に寄り添える看護師に

看護師を目指したきっかけ

小さい頃に家族が病院に入院したことがあり、その時に身体的、精神的に支えてくれた看護師の方がとても印象的でした。
その経験から、私も誰かが辛い時に寄り添える看護師になりたいと思いました。

県立病院を選んだ理由

県立病院看護部の理念「地域の人々に信頼される心あたたまる看護」を実習の中でとても強く感じました。
私も県立病院の一員として福井県に住む人々に寄り添った心あたたまる看護を展開したいと思いました。

後輩へのアドバイス

看護学科の場合、実習と就活の時期が重なりとても忙しいですが、その中でも計画的に勉強や面接練習を進めてください。
自己分析をしっかりやっておくと、面接の際にも話せる内容が増えると思います。

中舎 由綺帆 さん
看護福祉学部
看護学科4年

わたしの
シューカツ！

内定先 社会福祉法人 足羽福祉会（福井県・福祉職）

就活の“軸”を持とう

松本 春香 さん
看護福祉学部
社会福祉学科4年

福祉施設を目指したきっかけ
当初は一般企業か福祉施設かで悩んでいました。
しかし、障害者支援施設での実習で、利用者の方とコミュニケーションをとるなど、同じ時間を過ごす中で、次第にお互いの心が通ってきたと感じる場面があり、そのことに喜びと魅力を見出したので福祉施設で働こうと決めました。

後輩へのアドバイス
希望する企業等に求める条件は様々だと思いますが、その中でも絶対に譲れない条件をしっかり持っておくと、それが就活の“軸”になると思います。
また、就活で人生が決まるわけではないので、人生経験の一つだと思って楽しんで就活に臨んでみても良いと思います。

内定先 エースコック株式会社（東京都・総合職）

日本とベトナムの架け橋に

VU THI HA さん
生物資源学部
生物資源学科4年

福井県大に入学した理由
もともと日本の食文化に興味があり、日本の大学に進学したいという思いがありました。
福井県大は研究環境が充実しているほか、World Caféなどで、日本人学生や他の留学生とも交流できそうだと感じたので、ここに入学しようと決めました。

エースコックを志望した理由
私の母国ベトナムではエースコックの即席めん「ハオハオ」が大人気です。素敵な商品を作るエースコックで働くことは幼いころからの夢でした。

将来への抱負
福井県大で得た知識とエースコックへの愛で、日本とベトナムの架け橋になって、美味しくて安心安全な商品を提供することで日本や世界の人々のより豊かな食生活に貢献できればと思います。

内定先 ランドマーク税理士法人（東京都・税務コンサルタント）

就活での“出会い”を楽しもう

経営学科を選んだ理由
親戚が自営業をしており、もともと企業の経理や税務について興味がありました。
高校時代に税理士という仕事があることを知り、自分が目指すものはこれだ！と思い、将来を見据えて福井県大の経営学科に入学しました。

ランドマーク税理士法人を志望した理由
ランドマーク税理士法人は、関東でもトップレベルの税理士法人です。そういった環境に身を置くことで自分自身の成長につながると思い、志望しました。将来的には、地元に戻って独立・開業したいので1日も早く1人前の税理士になれるよう頑張ります。

後輩へのアドバイス
就活はインターンシップなどを通して様々な人と出会うことのできるとても貴重な経験です。
ぜひ楽しんで就活に臨んでください。

園谷 亮人 さん
経済学部
経営学科4年

内定先 三重県庁（三重県・水産職）

いっぱい悩んで進もう

三重県庁を志望した理由
就職活動をしている途中で進路を迷ったことが何度もありましたが、福井県大入学時に持っていた「故郷に帰って恩返しをして、故郷と共に歩んでいきたい」という思いから、三重県庁に進路を決めました。

後輩へのアドバイス
僕は家族や友人、研究室の先生と話をするなかで自分の進路を具体化することができました。
皆さんも周りの人とたくさん話して、いっぱい悩んで、自分自身が納得できる就職活動にしてください。
また、福井県大では公務員試験対策講座や公務員採用試験合格体験報告会など、公務員になるためのサポートが充実していますので、そういった機会を積極的に活用してみてください。

坂下 奨悟 さん
生物資源学研究科
海洋生物資源学専攻
博士前期課程2年

第29回 白樫祭

第29回白樫祭が、永平寺・小浜両キャンパスで開催されました。
昨年は新型コロナ感染防止のためオンラインでの開催でしたが、今年は感染防止対策を徹底し、
学生・教職員限定で2年ぶりとなる対面での開催となりました。
学友会、海友会をはじめ学生が一丸となって思い思いの企画を持ち寄り、楽しいひと時を過ごしました。

永平寺キャンパス　11/6・7
開催テーマ「Revival」

キックターゲット

ダンス部発表

ストラックアウト

アカペラ部発表

恐竜グッズの紹介・販売

よさこいサークル発表

会長・加藤智也さん（経済学部3年）を中心に総勢50人以上の学友会メンバーのほか、各クラブ・サークルなどがステージ企画・発表や模擬店を出店し、白樫祭を盛り上げました。また、11月6日には、今話題のアーティスト「wacci」による白樫祭のためだけに用意したライブ映像の放映がありました。

小浜キャンパス　10/30・31
開催テーマ「若海」

ミニ水族館～まったりうむ～

ステージ企画～キャット&チョコレート～

養殖現場VR体験

お宝ヨーヨー釣り

バブル相撲

射的ゲーム

会長・惟村晴太郎さん（海洋生物資源学部3年）を中心とした海友会の学生に加え、海洋生物資源学部の教員も様々な企画に参加しました。ハロウィンにちなんで仮装グッズの貸出コーナーも設けられ、小浜キャンパスらしいアットホームな白樫祭となりました。

FPU トピックス

来春開設の「先端増養殖科学科」を東京などでPR
シーフードショー、テクノフェアなどに次々出展

「先端増養殖科学科」の開設を2022年4月に控え、当学科の教育研究内容や取組みをPRするため、各地のイベントに出展を行いました。

11月8～10日の3日間、東京ビッグサイトで開催された「ジャパン・ナショナル・シーフードショー」では、多くの来場者に新学科をPRするとともに、全国の水産関連事業者との接点を得ることができ、新学科での新たな取組みの可能性を広げました。

また、福井県内で開催された「北陸技術交流テクノフェア」（10月20, 21日）、「ふくい農林水産まるごとフェスタ」（11月20, 21日）にもそれぞれ出展し、実際の養殖現場を体感できるVR動画の体験会などで、来館者に新学科をPRしました。

留学生と吉野小児童が交流会
出身国の郷土料理紹介などで親睦深める

11月23日（火・祝）、永平寺町松岡公民館主催の「第26回おらが村でも国際交流事業」の一環で、本学の外国人留学生3人と吉野小学校の5年生18人が参加する国際交流会が永平寺町吉野公民館で開催されました。

本学からは中国、ベトナム、マレーシア出身の留学生が参加。出身国の食文化や季節の特徴などを日本との違いを交えながら紹介したほか、中国風チヂミや揚げ春巻き、バナナフライなど各国の郷土料理を手作りで紹介し、児童にお土産として持ち帰ってもらいました。

また、児童からはお礼として一輪車による技が披露されるなど親睦を深めました。

海藻「アカモク」のヒトにおける健康増進効果を解明
村上特命教授と鷹巣中生徒が共同で検証

生物資源学部の村上特命教授が、福井市立鷹巣中学校の生徒14人と共同で、地元で採れる海藻「アカモク」のヒトへの健康増進効果を解明し、10月19日（火）に記者発表を行いました。

「アカモク」は、漁業者の中では邪魔者として駆除・廃棄されています。村上特命教授はこれまでの研究で、アカモクによる生活習慣病予防効果を明らかにしてきましたが、ヒトでの健康増進効果は検証されていませんでした。今回、鷹巣中学校の生徒と共同で、生徒や保護者がアカモクを1週間摂取した前後の尿中成分を比較し、塩分吸収が抑制された結果などを得ることができました。

この研究成果は、世界健康フロンティア研究会の「モナリザ賞」を受賞し、12月開催の世界健康フォーラムで生徒が成果発表を行う予定です。

イネが水田で育つ不思議を明らかに
塩野准教授らが世界で初めて発見

生物資源学部の塩野准教授ら国際研究チームは、イネなどの水田や湿地で育つ植物が、根腐れせずに生育するメカニズムを世界で初めて発見し、11月2日（火）に記者発表を行いました。この研究は、2012年度に同准教授の研究室を卒業した吉川真理奈さんの卒業研究をもとに発展させたものです。

「水」は植物にとって必要不可欠ですが、「多すぎる水」が逆に根の呼吸を阻害し生育を妨げます。一方、水田や湿地で育つ植物は、アブシジン酸が中心的な役割を果たし、根の細胞壁に「酸素漏出バリア」を形成することで、根の先まで酸素を届けていることを発見しました。

塩野准教授は「湿害を受けやすい農作物などへの応用に期待したい」と今後の展望を語りました。

海洋生物資源学部、経済学部、地域経済研究所で“実は百年”記念フォーラム

※本学は1920年に設置された福井県農業試験場内の「福井県農業技術員養成課程」が始まりです。

「先端増養殖科学科」の開設を2022年4月に控え、10月2日（土）に小浜キャンパスにおいて、養殖事業者や研究者、まちづくり関係者らによる「水産増養殖と環境まちづくり」をテーマにしたパネルディスカッションを開催し、約200人が参加しました。

学科長予定者である富永教授からは「水産増養殖の分野を変えていきたいという意気込みをしっかり持った学生に入学して欲しい。地域と非常に密接に関わっている水産増養殖業というものを理解し、地域活性にどう活かしていけるかということを学ぶことができる」と新学科をアピール。進士学長は、「魚だけで特化して物を見ないで、それを絡めて地域振興や地域活動に関わる人材も育成していきたい」と締めくくりました。

また、同じく11月4日（木）には、経済学部と経済・経営学研究科による「地域のリーダーシップを担う人材育成を考える」をテーマにフォーラムを開催し、高度な人材育成について議論と方向性の提示を行いました。

「水産増養殖と環境まちづくり」フォーラム

フォーラムの様子はこちらから↓

「地域のリーダーシップを担う人材育成を考える」フォーラム

フォーラムの様子はこちらから↓

『福井県立大学つぐみ賞』受賞者紹介

NGUYEN HOANG KHANH（グェン ホアン カン）さん
生物資源学研究科
生物資源学専攻（博士前期課程 2年）

学内で多文化交流を楽しめるWorld Caféのスタッフとして運営に参加し、日本人学生とのかけ橋役を担っているほか、後輩留学生に学習面、生活面での支援を行いました。

苧玉 真生（おだま まお）さん
生物資源学研究科
生物資源学専攻（博士前期課程1年）

生物資源学科　伊藤崇志教授の研究グループの一員として「クズの成分に皮膚細胞の老化を予防する効果」を発見しました。

綿谷 朋紘（わたや ともひろ）さん
生物資源学研究科
海洋生物資源学専攻（博士前期課程1年）

2021年度日本水産工学会学術講演会において、「エゾアワビの摂餌限界流速に関する基礎的研究」について講演を行い、学生優秀賞を受賞しました。

根木 遥介（ねぎ ようすけ）さん
生物資源学研究科
海洋生物資源学専攻（博士前期課程1年）

2021年度日本ベントス学会、日本プランクトン学会合同大会において「三方湖において低い炭素安定同位体比を示すユスリカ幼虫の時空間分布と年変動」について口頭発表を行い、学生優秀発表賞を受賞しました。

新任教員の紹介

生物資源学部 生物資源学科

准教授
篠原 秀文 しのはら ひでふみ

（専門分野）植物生化学、植物分子生物学
（担当科目）分子生物学

植物の細胞が発する「ことば」であるホルモンの研究をしています。みなさんも一緒に「ことば」を聞きませんか？

海洋生物資源学部 海洋生物資源学科

教授
佐藤 秀一 さとう しゅういち

（専門分野）魚類栄養学、水産養殖学
（担当科目）生化学、飼料栄養学

今まで、養魚飼料の開発に関する教育と研究を行ってきました。これからも、持続可能な水産増養殖業の発展の為に研究を続けていきたいと思います。

看護福祉学部 看護学科

教授
川村 みどり かわむら みどり

（専門分野）精神看護学
（担当科目）精神看護学、精神看護学実習

精神的健康の悩みと将来への希望、この組み合わせは人により様々です。個別性のある支援について一緒に考えましょう。